

月例経済報告（2023年3月）

● 月例経済報告（3/22）

<p><b>基調判断</b></p>	<p>(3月) 景気は、<u>一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している</u>。 ウイズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、<u>金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある</u>。</p> <p>(2月) 景気は、このところ一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。 ウイズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染拡大の影響に十分注意する必要がある。</p>	
<p><b>個人消費</b></p>	<p>(3月) 緩やかに持ち直している。</p> <p>(2月) 緩やかに持ち直している。</p>	<p>消費総合指数と実質総雇用者所得</p>
<p><b>設備投資</b></p>	<p>(3月) 持ち直している。</p> <p>(2月) 持ち直している。</p>	<p>製造業・非製造業の設備投資(名目額)</p>
<p><b>住宅建設</b></p>	<p>(3月) 底堅い動きとなっている。</p> <p>(2月) 底堅い動きとなっている。</p>	<p>住宅着工戸数(季節調整値)</p>
<p><b>雇用情勢</b></p>	<p>(3月) 持ち直している。</p> <p>(2月) 持ち直している。</p>	<p>雇用者数、就業者数の推移</p>

<p><b>生産</b></p>	<p>(3月) <u>このところ弱含んでいる。</u></p> <p>(2月) 持ち直しの動きに足踏みが見られる。</p>	<p>鉱工業生産・出荷・在庫・在庫率の推移 (2015年=100)</p>															
<p><b>輸出</b></p>	<p>(3月) <u>弱含んでいる。</u></p> <p>(2月) このところ弱含んでいる。</p>	<p>地域別輸出入数量指数 (2015年=100) ①輸出</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>2月</th> <th>3MA</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>+3.5%</td> <td>▲1.7%</td> </tr> <tr> <td>アジア</td> <td>+4.2%</td> <td>▲0.4%</td> </tr> <tr> <td>アメリカ</td> <td>+1.8%</td> <td>+0.1%</td> </tr> <tr> <td>EU</td> <td>▲2.0%</td> <td>▲4.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>アジア (56.4%) アメリカ (18.6%) EU (9.5%)</p>	地域	2月	3MA	全体	+3.5%	▲1.7%	アジア	+4.2%	▲0.4%	アメリカ	+1.8%	+0.1%	EU	▲2.0%	▲4.2%
地域	2月	3MA															
全体	+3.5%	▲1.7%															
アジア	+4.2%	▲0.4%															
アメリカ	+1.8%	+0.1%															
EU	▲2.0%	▲4.2%															
<p><b>国内企業物価</b></p>	<p>(3月) <u>このところ上昇テンポが鈍化している。</u></p> <p>(2月) このところ上昇テンポが鈍化している。</p>	<p>企業物価の推移 (2020年=100)</p>															
<p><b>消費者物価</b></p>	<p>(3月) <u>上昇している。</u></p> <p>(2月) <u>上昇している。</u></p>	<p>消費者物価の推移 (2020年=100)</p>															
<p><b>海外経済</b></p>	<p>(3月) <u>世界の景気は、一部の地域において弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しが続いている。先行きについては、緩やかな持ち直しが続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響、物価上昇等による下振れリスクに留意する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響を注視する必要がある。</u></p> <p>(2月) 世界の景気は、一部の地域において足踏みが見られるものの、緩やかな持ち直しが続いている。先行きについては、緩やかな持ち直しが続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響、中国における感染拡大、物価上昇等による下振れリスクの高まりに留意する必要がある。</p>																

[月例経済報告：内閣府](#)